

ロータリーの先駆者<日本編>

米山 梅吉 (よねやま うめきち) (1868~1946)

日本のロータリーの創始者。よって、日本ロータリーの父「Father of Rotary in Japan」と称されます。

1868年2月4日、大和国高取藩の和田氏の三男として東京に生まれ、父の死後、母の故郷の静岡県長泉（現米山梅吉記念館の所在地）に移り、中学生まで、ここで過ごします。1883年上京し、1887年、米山家に養子として入籍。同年渡米し、学問を修め1895年帰国後、三井銀行に入行しました。

その後1918年の渡米中、ダラスロータリークラブ（RC）のロータリアンになっていた福島喜三次の紹介により、彼はロータリークラブと出会いました。そして帰国後の1920年10月、米山梅吉は東京RCを創立し会長に就任しました。幹事は福島喜三次です。

これが、日本のロータリークラブの第一歩となりました。その後、彼は1924-26年度国際ロータリー（RI）のスペシャル・コミッショナー、1926-27年度RI理事（日本人初）、1928-31年度第70地区（当時）ガバナーなどを歴任しています。

文筆に優れた彼には、ロータリー関係の主な翻訳書に、ポール・ハリスが著した『ロータリーの創設者ポール・ハリス』、『ロータリーの理想と友愛』（原題は『This Rotarian Age』）があります。

また1952年、東京RCは彼の功績を記念し、日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う「米山奨学制度」を構想しました。現在の「ロータリー米山記念奨学会」です。彼は1946年4月28日、長泉にて逝去。お墓は記念館近くと横浜市の総持寺の2か所にあります。



ロータリーの先駆者<日本編>

福島喜三次 (ふくしま きそじ) (1881~1946)

日本人第1号のロータリアン。そして、ロータリークラブを米山梅吉に紹介し、彼とともに日本にロータリークラブを創設した人。佐賀県の有田出身。

三井物産に勤め、1905年渡米、1915年にダラスRCに入会。1920年帰国し東京RC創立会員になったものの、大阪転勤により1923年、大阪RC創立会員ともなりました。この年に関東大震災が発生、彼はクラブ幹事として、世界の各クラブからの救援物資を東京へ輸送するなど、大活躍しました。

大変誠実な人として知られ、座右の銘は「利他即自利」。



☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

蟹サラダ、アボカド、リンゴのミルフィーユ
仕立て、トマトエスプーマ
マスタードと香草風味のポーク肩ロースの
ロースト、リソレポテト、
セージ風味のオニオンヴィネグレット
桃のコンポート、
ラベンダー風味のハチミツレモンゼリー
コーヒー又は、紅茶
胡桃入りソフトブレッド、パケットとバター

我等の生業

一、我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕

二、奉仕に集える我等は望む
正しき道に果をとるを
人の世挙げて光を浴みつ
力を協せて争忌むを

お、ロータリアン
お、ロータリアン
我等の集い
我等の集い

OSAKA-TEMMABASHI

ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階
例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪 4F
会長 高田 肇 幹事 田邊 三郎 ソング・プログラム・広報委員長 平尾 彰彦

事務局電話(06)6344-0120 FAX(06)6344-0126 ホテル電話(06)6347-7111
E-mail:temma-rc@temmabashi-rc.com http://temmabashi-rc.com

2018-2019年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

JULY 19 2018 NO. 2435

☆☆ 今日のプログラム ☆☆	次週（7月26日）のお知らせ
1) 例会 (2435回)	1) 例会 (2436回)
2) ソング 我等の生業	2) ソング 我は海の子
3) クラブ協議会（ガバナー補佐訪問）	3) 卓話 「幹事を終えて今思うこと」 寺杣 晃一 会員
4) ガバナー補佐訪問懇談会	4) 8月度定例理事会

☆☆ 福田 忠博ガバナー補佐訪問を心から歓迎申し上げます ☆☆



国際ロータリー第2660地区
IM第6組
福田 忠博 ガバナー補佐

プロフィール
【生年月日】 1939年3月12日
【職業】 不動産鑑定士 代表取締役
【ロータリー歴】
1992年10月 大阪中之島RC入会
1994年~95年 社会奉仕委員長
2001年~02年 会長
2007年~08年 春のライラ実行委員長
2012年~13年 ロータリーの友
地区代表委員
2014年~15年 地区クラブ奉仕・
拡大増強委員長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、
米山功労者（マルチプル）

☆☆ 7月度の結婚記念日 ☆☆

高橋 俊起 吉村 圭太 平尾 彰彦
(以上敬称略)

**** 先週の例会報告 ****
☆☆ 会長報告 ☆☆

皆様こんにちは。先週は、記録的な豪雨でしたが、皆様には被害はございませんでしたでしょうか？私は金曜日は朝電車に1時間20分も乗っていましたが、線路上で止まらなくてよかったです。また、蟬の声も聞かれるようになりいよいよ本格的な夏となりましたので熱中症にお気を付けてください。本日の例会は、青少年奉仕委員会担当の卓話として、地区危機管理委員会副委員長近藤様にお越し頂いております。

また、本日は、一般財団法人大阪府青少年活動財団事務局長前垣様と同じく経営企画部長三枝様がお越し頂いていたのですが、他の用事があり打ち合わせのみでお帰りになりました。今年度の大阪府の青年功績賞の表彰は9月1日（土）午前10時30分集合、午前11時から授与式を天満橋のドーンセンターにて吉野・なるかわ合同で執り行わせていただきます。先週土曜日に、地区合同委員会がありまして中島地区ローターアクト委員長と仲西地区委員が出席されま

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	1名	会員総数	51名	7月12日の出席率	89.36%
国内ゲスト	1名	会員出席	42名(47名)	5週間前(6月14日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	19名	マークアップを含む出席率	82.00%
外国ゲスト	0名	会員欠席	5名	マークアップ実施会員	3名(欠席者12名)

した。7月11日(水)大阪天満橋ローターアクトクラブの今年度初例会がありました。中島地区ラック委員長、橋本前会長、一人入会者を推薦していただいた石田パスト会長、森本前委員長、御木委員長、阪本副委員長が参加して頂きました。中島地区ローターアクト委員長から地区の考え方をお話して頂きました。入会の浅い会員の方はラックへの積極的な参加をお願い致します。これから暑い日が続きますが十分な水分補給を心がけていただきまして体調管理にお気を付けください。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①2018~2019年度 理事・役員・委員会一覧の最新版を本日お配りしております
- ②次週開催のクラブ協議会の開催時間を訂正しましたご案内を本日お配りしております。出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ③7月19日のガバナー補佐懇談会集合時間を先日11:00前とご案内しておりましたが11:20に変更とさせていただきます。関係各位よりしくお願い致します。
- ④「2018-19年度 上半期会費のお願い」をさせて頂いております。お振り込み宜しくお願いたします。
- ⑤創立50周年記念事業実行委員会 慰労・懇親会の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ⑥福原 哲晃会員の「旭日中綬章」受章を祝う会が本日18:00からホテル日航大阪「スカイテラス」にて開催されます。関係各位よりお願いたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日卓話でおじゃましました!! よろしくお願いたします。

2660地区危機管理委員会 近藤 眞道
地区危機管理委員会副委員長、近藤様ようこそいらっしやいました。 高田 肇
大阪府青少年活動財団の青年功績賞の出席を宜しくお願致します 高田 肇
近藤眞道様、ご来訪ありがとうございます。本日の卓話楽しみにしております。

川原 和彦
在籍50年、ありがとうございました。

川本 浩

90歳になりました。今後ともよろしくお願
い致します。 川本 浩

高田会長、役員の皆様がんばって下さい

川本 浩

在籍35年自祝として 橋本 守之

川本先輩、祝在籍50年敬服致します。私は5

年、自祝 寺柚 晃一

誕生日自祝 仲西 良浩

平成30年7月12日 合計金 103,000円

累計金 262,000円

☆☆ 先週(7月12日)の卓話 ☆☆

「ロータリー青少年保護と危機管理

～我が子と思え、我が家族と思え～」

地区危機管理委員会

副委員長 近藤 眞道 様

青少年奉仕委員会

「ロータリーのメンバーの中に、現在、児童虐待と刑期を務めている人もいます。地区ガバナーも一人含まれています。さらに私が調査した結果、児童虐待、性的虐待、小児性愛者はロータリーのメンバーの中にもおります。」これは、2004年、大阪で開催された国際ロータリー世界大会の青少年役員プレコンヴェンションでの英国スコットランドヤードのグルド警視の基調講演の冒頭部分です。これが契機となって、RI理事会は下記の理事会決定をします。

COP2.300 「ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす義務がある。ロータリー関係の青少年プログラムに関与し、青少年保護に関する法律に違反した会員に対して(中略)(当該)クラブが対処しなかったという情報を(RI)が得た場合、理事会は、RI細則3.030.5に従ってこのクラブの加盟を停止または終結させることができる。」と決定しました。これらの決定に従いそれを遵守すべく必要なルールをRIは確立。そのルールは全日本34地区に適応されています。さらに、被害者側からロータリーとしての管理責任賠償訴訟を起こされることを想定し(すでに日本でも、訴訟一歩手前までの事案はでてきている)青少年奉仕部門青少年交換プログラムの法人化がなされ

責任賠償保険に加入しています。2004年当時、性的虐待、セクハラは日本社会では社会問題になってはいませんでした。しかし、昨今、この種の問題が日本社会で大きくクローズアップされて来ています。先に述べた通り、性的虐待、セクハラからロータリー活動における青少年を保護し、且つ、ロータリークラブ・ロータリーを護る方策はすでに私共にはできています。ただ、次に問題となるのは、我々自身、ロータリアン個人個人が性的虐待・セクハラなどを自ら行わないこと、それが今重要になってきています。性的虐待とは何か、特にセクハラとは何か、をロータリアン自身が自分の問題としてよく自己検証してみる必要性が出てきました。すでに国際ロータリーでは「青少年保護の手引き」を作成、具体的に性的虐待・セクハラとはどのような行為が該当するか、がそこには書かれています。これらを理解し、それらの行為を自ら行わないこと。すなわちロータリアンとして高い倫理観を持ち、他人に愛と慈悲の心で接すること、それがセクハラ・性的虐待を自らをして自らを護る根本になると考えます。それがロータリアンとしての高いプライド、誇りにもなるのでしょう。そうです、私たちが関係する、ご縁を持つ全ての人々に対して

「我が子と思え、我が家族と思え」

その思いで接すること、これがセクハラを防ぐ第一歩になるのかもしれない。

一福原会員の「旭日中綬章」受章を祝う会一

平成30年7月12日(木)

18時より、ホテル日航大阪スカイテラスにおいて、『平成30年春の叙勲』に際し『旭日中綬章』を受章された福原哲晃会員のお祝いの会が催されました。大阪大手前RC、大阪中之島RCのメンバー様にもご参加いた



だき、総勢38名の皆様が集っていただきました。楯に納まった勲章が飾られる中で、坂本会員の乾杯から始まり、日航ホテルの美味しい和食をいただきながら、華やかで賑やかな会となりました。各々、勲章をしげしげと眺めつつ、福原会員にお祝いの言葉を投げてくださいました。最後に、福原会員より御礼の挨拶を述べていただきました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

